

令和 7 年度

事業報告書

一般財団法人 岩手済生医会

令和7年度 事業報告

1. 法人の概要

- (1) 名 称 一般財団法人 岩手済生医会
- (2) 所在地 岩手県盛岡市長田町 24 番 7 号
- (3) 法人の設立年月日 大正 9 年 5 月 15 日（平成 24 年 4 月 1 日 一般財団法人移行）
- (4) 役員及び評議員 （令和 8 年 3 月末現在）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
理事長	三 田 ひろみ	評議員	佐々木 和 彦
理 事	三 田 光 男	評議員	臼 井 康 雄
理 事	三 田 義 之	評議員	三 浦 廣 行
理 事	渡 辺 正 和	評議員	長 山 洋
理 事	大 塚 耕太郎		
理 事	及 川 吏智子		
監 事	攝 待 幸 子		
監 事	高 橋 俊 雄		

2. 法人が設置する事業

- (1) 岩手看護専門学校（看護師養成 明治 30 年 4 月 開設）
看護学科 1 学年定員 40 名 3 年課程
所在地 盛岡市長田町 24 番 7 号
- (2) 岩手リハビリテーション学院（理学療法士・作業療法士養成 昭和 55 年 4 月 開設）
理学療法学科 1 学年定員 40 名 4 年課程
作業療法学科 1 学年定員 35 名 4 年課程
所在地 盛岡市長田町 15 番 16 号
- (3) 中津川病院（内科系病院 昭和 6 年 10 月「岩手サナトリウム」開設、昭和 61 年 11 月 名称変更）
病床数 51 床（うち地域包括ケア病床 32 床）令和 8 年 2 月閉院 3 月三田記念病院と統合
所在地 盛岡市下米内二丁目 4 番 12 号
- (4) 訪問看護ステーションなかつがわ（平成 29 年 11 月 開設）
所在地 盛岡市加賀野三丁目 14 番 1 号
- (5) 居宅介護支援事業所なかつがわ（令和 2 年 6 月 開設）
所在地 盛岡市加賀野三丁目 14 番 1 号
- (6) 三田記念病院（精神科病院 昭和 8 年 6 月「岩手保養院」開設、平成 24 年 4 月 名称変更、
精神科・内科病院として中津川病院と令和 8 年 3 月 統合）
病床数 199 床（精神科病床 148 床、内科病床 51 床）
所在地 盛岡市加賀野三丁目 14 番 1 号
- (7) こころの訪問看護ステーション三田（平成 30 年 4 月 開設）
所在地 盛岡市志家町 13 番 31 号
- (8) 加賀野の里（精神障害者グループホーム 平成 14 年 3 月 開設）
入所定員 20 名
所在地 盛岡市加賀野三丁目 14 番 10 号

3. 各施設の事業の概要

(1) 法人本部事務局

① 令和7年度決算総括

令和7年度は、令和8年3月1日に中津川病院（内科）と三田記念病院（精神科）の統合という大事業を行った。統合により大幅な病床削減を行った影響もあり、退職者数は55名（うち定年退職者7名、普通退職者47名、医師1名）にものぼり、退職金の総額も87,264,635円の支給となった。統合後の三田記念病院は、旧三田記念病院の1病棟を閉鎖し、そこに旧中津川病院の機能をそのまま移転させる方法を取ったことにより、医療収入について旧三田記念病院は減収、旧中津川病院は微増となった。

一方、学校部門では、岩手看護専門学校は、新入生の定員を満たしたことで、学納金等の改定を行った結果18,465,000円の増収、岩手リハビリテーション学院では、理学療法学科は定員を満たしたが、作業療法学科では定員を満たせず、23,448,500円の減収となった。

法人本部では、令和8年1月に運営資金確保のため福祉医療機構より2億2,200万円を借用した他、令和7年度補正予算で組まれた様々な補助金の活用や、有価証券の売却などにより経営の安定化を図った。

② 各種報告

会計監査	令和7年5月22日
定例理事会	令和7年5月27日 開催
理事会書面決議	令和7年8月22日
理事会書面決議	令和7年10月29日
理事会書面決議	令和7年12月19日
理事会書面決議	令和8年2月13日
定例理事会	令和8年3月16日 開催
定時評議員会	令和6年6月16日 開催
評議員会書面決議	令和8年2月16日
評議員会	令和8年3月23日 開催

(2) 岩手看護専門学校

項目	看護学科（看護師3年課程・全日制）
(I) 総括報告	① 事業目標：入学したい、入学させたい学校を目指し、卒業後看護師として採用したいと評価される学生を育てる。 ② 令和7年度の新型コロナ感染症陽性者は7名、インフルエンザA型は12名であった。同居者が感染したことによる接触者もあった。感染対策を行い登校して問題なく学習は継続できた。 ③ 国家試験対策として、3年生は業者(東京アカデミー、医教、テコム、学研、なすもし、メディックメディア等)の教材を利用し「総合試験」3回実施。 その他、模擬試験や過去問題等を多数繰り返し実施し終了後は試験問題の振り返りを個人・グループで行い知識習得の強化を図った。また、1月から土日は学生の状況や苦手意識がある分野の課題を準備し、自己学習後提出し採点し分析を行った。 1・2年生実施の模擬試験 1年生 2月27日 基礎学力チェックテスト(テコム) 3月12日 解剖生理学チャレンジテスト(学研)

* 春期休暇で解答後の自己学習を行う

2 年生 1 月 27 日、3 月 11 日 基礎学力 UP チャレンジテスト(学研)

1 月 23 日、2 月 2 日 メディックメディア模試 (メディックメディア)

国家試験対策委員会は、有効に活動できなかった。次年度の課題としたい。

- ④ 広報委員会が中心となり、昨年度同様に式典 (入学式、戴帽式、卒業式) 及び学校紹介等を HP 上で公開する、高校で開催された進路ガイダンスに多数参加するなど策定された広報活動計画に従い実施した。
- ⑤ 今年度は、41 名の学生を確保し定員割れは避けることができた。
しかし、以前より学業成績の低い評定の学生も獲得しており、学業不振で退学する学生もいた。
- ⑥ 学校評価・授業評価については実施できなかった。
- ⑦ kintone(クラウド型業務アプリケーションツール)の利用による業務の効率化がなされ次年度以降に更なる効率化を予定している。
- ⑧ 教務システムの円滑な運用により学生情報の一元管理ができるようになった。
さらなる運用を図るには、費用の問題もあり今後の課題とする。
- ⑨ 昨年度、総合型選抜の応募が多数であったため、回数を増やしたが 2 回目の応募者がなかった。実施時期の検討が必要と考えられる。学校推薦型選抜も今年度は昨年より少なかった。次年度の選抜方法については検討が必要である。
- ⑩ 学校施設・設備の修理修繕について優先順位をつけ中期的計画は策定したが、緊急の修理・修繕があり今年度は少額の修繕に留めた。法人の収支を見ながら次年度以降に実施としたい。
- ⑪ 地域の避難所としての役割を果たすことができるよう、災害時の対応全般について整備を行った。今年度は学生も交えた避難訓練(11/19)では、4 分程度で全員避難ができた。今後は様々な災害を想定し避難マニュアルの見直しをしながら実施したい。
- ⑫ 11 月にホームページをリニューアルした。
- ⑬ 学校推薦型選抜で指定校とした高校 14 校と、在校生、過去の入学生の実績、資料請求があった他 18 校を訪問し入学生の確保に努めた。統合型入試では 11 名中 9 名、学校推薦 11 名中 9 名が訪問した高校からであった。

〈学生教育について〉

- ① 各実習施設 (37 箇所) と打合せ会議を開き、学生指導について意見交換を行い連携を図った。また、3 名の実習指導教員を配置し臨地実習の充実に努めた。
- ② 学校生活や学業の成績等で気になる学生には、担当教員が指導を行い、必要時保護者と連絡を取っている。特に 1 年生の指導については積極的に連絡を取った。
- ③ 国家試験対策として各学年それぞれが、例年に則って指導を行っているが、情報共有が必要と考えており、1 年次から 3 年次迄一連の学習指導等を行えるよう検討したい。
- ④ 1 年生に対する補習授業の実施
昨今の入学生の学力低下における対策として補習授業を実施した。
対象学生 25 名 (進研アド基礎力リサーチ 数学平均点 70 点以下)
参加した学生の評価は概ね好評であった。講義を担当している非常勤講師に依頼をしたが学生の様子がわかっていたことが判りやすい授業となったと思われる。

〈学生確保に向けた活動〉

- ① 学校見学会 R7 7月26日(土) 参加者 30名 保護者 13名
9月27日(土) 参加者 23名 保護者 6名
R8 3月19日(木) 参加者 8名 保護者 2名

夏期休暇を中心に2回の実施から3回の実施とした。

総合型では10名中9名、推薦では11名中11名と合格した学生の殆どが見学会に参加していた。

昨年に引き続き学生ボランティアと教員の協同での実施としたが、ボランティア参加者が少なく検討は必要である。

今年度も参加者アンケートは出口でiPad及びスマホでの回答とした。

参加者アンケートでは好印象の評価が多かった。

② 進路ガイダンス

- ・メディアプラン 看護限定進学相談会 4月26日 10名

- ・岩手県看護協会主催 進学セミナー

看護職を目指す中学生・高校生の進学セミナー 北上 7月30日 9名

同上

盛岡 8月5日 11名

- ・キッズコーポレーション進路ガイダンス

盛岡白百合学園高等学校 6月13日 6名

- ・さんぽう 医療系進路相談会 2月20日(教育会館) 2名

例年に比して高校からの依頼が少なかったが看護への進学希望者が少ないことも依頼の減少の要因となっていると考えられる

③ 高校訪問 5月1日～6月30日 32校訪問(うち指定校14校)

岩手県内の高校31校、秋田県1校を訪問し学生募集を行った。

総合型入試では11名中9名、学校推薦11名中9名が訪問校からであった。

④ ホームページの更新

広報委員会が中心となり、ホームページの活用について評価し適宜修正を行った。

11月にはトップページのリニューアルを含め更新した。

⑤ 情報誌掲載

- ・メディアプラン 進学相談会 2025 参加とセット 学校・病院ガイドブック

- ・岩手県看護協会 看護職をめざすあなたのためのガイドブック 2025

- ・さんぽう 看護資料進学ネット

- ・栄美通信 看護・医療データファイル

- ・旺文社 蛭雪時代臨時増刊 全国看護・医療・福祉系大学・短大・専門学校
受験ガイド

⑥ 学校訪問受け入れ

岩手女子高等学校 2年生 8名

〈学生教育環境の改善に向けた活動〉

① 実習室・教室・学校全体の備品確認・補充を行った。

② 図書室では、電子媒体(医中誌 Web、メディカルオンライン、最新看護索引 Web、系統別看護師国家試験問題 Web)の契約更新を行い利用に供している。

- ・蔵書の図書システム(Egg-Web)への入力作業及び図書整理を行っている。

- ・図書管理は継続して非常勤職員を採用し実施している。

・令和7年度購入・寄贈図書（校費、同窓会・後援会寄付 寄贈 173冊）

・購入雑誌数（校費・同窓会・後援会寄付 48誌）

③ 教育用電子カルテ「Medi-EYE」今年度は「母性」のみを導入した。

④ 電子教科書導入のための検討を行い令和9年度入学生より導入を決定した。

〈学生の健康管理〉

① 健康手帳の記載、健康チェック表に基づく健康管理を実施（1回/月以上）

② インフルエンザ予防接種の実施（中津川病院協力） 11月19日、12月3日

③ 校医による健康診断の実施 5月29日

④ レントゲン検査（予防医学協会）4月8日

⑤ 血液検査の実施（中津川病院協力）4月10日

⑥ UPI心理検査 5月28日

⑦ 心理相談員の交代があったが、継続して臨床心理士（非常勤）を配置し心理相談の実施1回/月実施している。中学・高校でスクールカウンセラーや相談員と兼務となる先生で引き続き精神面の支援を行うことができた。

⑧ 中津川病院の協力により学生の健診、予防接種等実施することができた。

⑨ 保護者会は入学式時のみ1回であるが、支援が必要と思われる学生の保護者とは、主に担当教員が連絡を取り情報の共有を行い連携に努めている。

〈教職員のスキルアップに向けた活動〉

① 岩手県看護協会主催「看護教員スキルアップ研修」に、教員全員が参加した。

- ・7/29 困った学生・悩める学生の「聞かない」「覚えない」への対応
- ・8/1 学生の学修を促す指導と倫理
- ・8/19 大人になっても伸ばせる非認知能力
- ・8/29 学生の「臨床判断能力」を育てる授業実践

② その他研修会及び会議への参加

- ・日本看護学校協議会 学校長及び総会 5月26日～27日
- ・日本看護学校協議会 副学校長及び教務主任会 12月16日
- ・岩手県看護教員協議会役員会 10月17日 2月20日
- ・盛岡市地域共生社会推進フォーラム 2月18日
- ・日本看護学校協議会東北ブロック研修 8月1日 オンライン
- ・岩手県看護研究学会 11月29日 3年生39名 教員3名 Web参加
- ・日本看護学校協議会共済会定期総会 6月27日
- ・日本看護学校協議会事務担当者会 9月12日
- ・日本地域看護学会第28回学術集会 9月6日～7日
- ・岩手県看護教員協議会総会 4月19日
- ・自転車利用マナー講話 5月26日
- ・ボイラー技士実技講習 9月23日～25日
- 2級ボイラー技士免許試験 8月23日

〈学生総数〉

3月31日現在 在籍者 110名

退学者 4名 休学者 0名

(Ⅱ) 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 「ふれあいランド祭」(1年生) 9月7日 1年生 41名参加 ② 障がい者スポーツ大会運営ボランティア(2年生) 6月7日 2年生 32名参加 ①②において高齢者や障がい者と接することにより多くの学びを得ている。 ③ ナイチンゲール祭ボランティア活動(施設慰問・環境整備) 9月19日 ・青山和敬荘、浅岸和敬荘、中津川病院、三田記念病院、保育園等9ヶ所施設慰問 三田記念病院「さんさ踊り」、清掃活動、慰問品の贈呈、園児たちとの交流、 長田町第一旭会の健康教室への参加 ・校内・体育館・学校周辺の道路清掃 エアコン清掃 タオル帽子の作成等を実施 ④ 関係団体への派遣協力 ・岩手県看護教員協議会 情報交換委員 ・岩手県看護協会 看護実習指導者講習会演習プロンプターとして派遣 9月4日、5日、10日 ・日本看護学校協議会共済会代議員 ⑤ 人間総合大学 人間科学部 心身健康科学科 看護教員養成コースより1名、看護教育実習受入れの協力依頼があり7月から12月までの中で11日間受け入れた。 ⑥ 一時避難所として備えておいた方がよいと思われる「テント、緊急簡易トイレ等」後援会の協力を仰ぎ備えるように整えていく。 ⑦ 地域住民との交流は「長田っこフェスタ」実施を通して協力依頼等で交流を行っている。 ⑧ 地域貢献の一環とした盛岡周辺地域に就職した卒業生との交流会を実施した。 令和8年2月20日 盛岡地域7病院の卒業生10名、2年生31名
(Ⅲ) 各種報告	〈行事等の実施〉 ① 入学式：4月9日 入学生41名 入学式後の保護者会には52名参加 ② 新入生オリエンテーション実施 4月10日~14日 ③ 本年度も「さんさ踊り」は参加を中止とした。 ④ 戴帽式：10月8日 戴帽生 41名 ⑤ 第115回看護師国家試験：令和7年2月15日 39名受験 全員合格 合格率100% (全国平均 88.3% うち新卒 94.1%) ⑥ 卒業式：令和8年3月6日 卒業生39名 〈令和8年度入学選考試験〉 ① 総合型選抜1期：令和7年9月20日(土) 志願者11名 合格者11名 ② 総合型選抜2期：令和7年12月6日(土) 志願者0名 合格者0名 ③ 学校推薦型選抜 指定校制：令和7年11月15日(土) 志願者3名 合格者3名 ④ 学校推薦型選抜 公募制：令和7年11月15日(土) 志願者8名 合格者8名 ⑤ 社会人入学試験1期：令和7年11月15日(土) 志願者3名 合格者2名 1名は職場推薦による応募 ⑥ 学士入学試験 1期：令和7年11月15日(土) 志願者1名 合格者1名 ⑦ 社会人入学試験2期~4期：志願者なし ⑧ 一般入学試験1期：令和8年1月7日(水) 志願者8名 合格者7名 ⑨ 一般入学試験2期：令和8年2月7日(土) 志願者3名 合格者3名 ⑩ 一般入学試験3期：令和8年3月9日(月) 志願者1名 合格者1名

合格者 総合型 11 名 推薦 11 名 一般 11 名 社会人 2 名 学士 1 名

入学者 28 名 (定員 40 名)

〈調査・統計等報告〉

- ① 私立専修学校の入学者及び卒業者に関する調査 (岩手県私学振興会)
- ② 学校基本調査・学校施設調査 (WEB 報告岩手県)
- ③ 学校一覧調査 (岩手県私学振興会)
- ④ 看護師等学校養成所入学・卒業生就業状況調査 (医療政策室)
- ⑤ 看護師等学校養成所入学・卒業生就業状況調査 (厚生労働省)
- ⑥ 保健師助産師看護師法施行令 14 条第 1 項の規定等に基づく報告
- ⑦ 私立専修学校・各種学校に関する実態調査
- ⑧ 自衛的燃料備蓄補助事業に係る現地確認調査
令和 6 年度看護師等運営費補助金 看護師等養成所施設設備整備事業
補助額 10,670,000 円 (総事業費のうち半額補助) による工事の実地調査
- ⑨ 学校教員統計調査

〈各種補助金等申請〉

- ① 令和 7 年度看護師等運営費補助金：16,473,000 円
- ② 岩手県物価高騰対策賃上げ支援金：120,000 円

〈学則変更等承認申請〉

- ① 学則変更承認申請 令和 8 年 4 月 1 日付
学校教育法改正による学則変更
- ② 実習施設変更承認申請 令和 7 年 8 月 1 日付 令和 8 年 4 月 1 日付
(保健師助産師看護師法施行令第 13 条 1 項に基づく)
- ③ 修学支援制度機関要件確認
- ④ 修学支援制度機関要件に係る 確認取り消し猶予申請
- ⑤ 修学支援新制度 適用学生申請

〈施設管理〉

- ① ボイラー・電気・水道等法定点検と設備点検
- ② 消防設備法定点検と保守点検等
- ③ 1 階誘導灯器具交換 44,000 円
- ④ 屋内消火栓設備ホース耐圧試験 39,600 円
- ⑤ 屋上電気 BOX 更新工事 46,200 円
- ⑥ 誘導灯修繕 44,000 円
- ⑦ 揚水ポンプ修繕及びボイラー室動力制御盤液面制御ユニット更新工事 507,100 円
- ⑧ 1 階廊下動力盤火災に伴う盤更新工事 693,000 円 (火災保険適応)

〈その他〉

- ① 文集「砂丘」第 66 号発行
- ② 看護職員修学資金貸付 (岩手県保健福祉部医療政策室)

	新規貸付者 6名 継続 9名 完了者 3名 ③ 日本学生支援機構 給付奨学金 32名 貸与奨学金 1種 40名 2種 33名 ④ 岩手県看護研修学会参加 3年生 39名 教員 3名 ⑤ バス車内広告 R7.10.1～R8.9.30 岩手県交通最寄り放送広告
--	---

(3) 岩手リハビリテーション学院

項目	学院全体
(I) 総括報告	1 学生確保を目的に学院見学説明会を4回、学科見学説明会（理学療法学科）を2回実施し、進学情報提供業者主催の進学説明会に複数回参加したほか、岩手県内の高校を対象に高校訪問を行った。また、学院パンフレットのデザインを一新し、HP もコンテンツを増やす等広報活動に力を入れた。 2 学生教育充実のため教材教具、機器、図書を購入した。 3 学校評価実施規程により自己評価委員会を開催し、教育理念から社会貢献・地域貢献までの各項目の現状および課題・対策について点検・評価を行い、「自己評価報告書」を作成した。 4 学校評価実施規程に基づき、外部委員から構成される学校関係者評価委員会において自己評価結果を報告し、指導助言を受けた結果を「学校関係者評価報告書」として作成の上、「自己評価報告書」とあわせて本学ホームページに掲載し公開した。 5 各科目の関連性を整理するため、カリキュラムを変更した。（令和8年4月1日改正） 6 学校施設整備事項として、1階から4階までのトイレ改修を行った。 7 補助金等の決定状況 ・岩手県物価高騰対策賃上げ支援金：60,000円

項目	理学療法学科（4年課程）
(I) 総括報告	1 学生確保を目的に学科説明会を実施した。 2 学生教育において、学生の質向上を目的として学生指導や授業内容について検討を重ね進めた。 〈進級状況〉 1学年 40名中 進級者 38名 進級率 95.0% 2学年 35名中 進級者 34名 進級率 97.1% 3学年 34名中 進級者 34名 進級率 100.0% 3 臨床実習教育において、実習指導者会議や施設訪問を通して指導者との連携を図りながら進めた。 4 初年度学生の学修意欲を喚起すべく臨床見学を行った。 5 初年度学生の障がい者理解を促進すべく、障がい者スポーツ大会へ参加した。 6 学年間の連携を目的に臨床実習セミナー・学年間交流会を実施した。 7 臨床実習効果を高めるため、保護者に対する説明会を実施した。 8 臨床実習教育の充実を図るため、臨床実習指導者講習会を開催した。 9 学生の就職活動において、学生や求人施設の情報収集及び提供並びに就職説明会を行った。

	① 就職希望者 35 名（卒業生者数 35 名） ② 就職内定者 35 名 ③ 就職内定率 100% 10 国家試験受験合格を目的として、学生の学習促進を図った。 第 61 回 理学療法士国家試験（令和 8 年 2 月 23 日(月)実施） ①新卒者 35名中 34名合格 合格率 97.1%（全国平均 94.9%） ②既卒者 3名中 0名合格 合格率 0.0% ③全 体 38名中 34名合格 合格率 89.5%（全国平均 89.7%） 11 学校教育の質確保のため、外部評価を実施した。
(II) 公益活動及び 地域支援活動 報告	1 障がい者スポーツ大会へ協力学生派遣 2 滝沢市介護保険審査会（教員 1 名） 3 医療法人日新堂へ理学療法の指導者派遣（教員 2 名） 4 医療法人すみれ会へ理学療法の指導者派遣（教員 1 名） 5 東八幡平病院リハビリテーションセンターへ派遣（教員 1 名） 6 有限会社メディカルサービス・ヤスミへ理学療法の指導者派遣（教員 1 名） 7 メディフィットクラブ臼井通所リハビリテーションへ派遣（教員 1 名） 8 有限会社ベターライフいわてへの理学療法士派遣（教員 3 名） 9 県事業関連会議へ委員の派遣（県リハビリテーション協議会等）（教員 1 名） 10 いわてリハビリテーションセンター評議員会へ委員の派遣（教員 1 名） 11 八戸工業大学第二高等学校 学校説明会（令和 7 年 6 月 10 日(火)）
(III) 各種報告	〈行事の実施〉 1 入学式：令和 7 年 4 月 10 日（木）実施、入学生 40 名（第 46 回生） 2 健康診断：レントゲン撮影、血液検査、内科健診等を実施 3 1 年生の臨地実習臨床教育者会議を実施 4 2 年生の地域理学療法導入実習臨床教育者会議を実施 5 3 年生の評価実習臨床教育者会議、次年度総合実習臨床教育者会議を実施 6 インフルエンザ予防接種、B 型肝炎予防接種を実施 7 卒業式：令和 8 年 3 月 5 日（木）実施、卒業生 35 名（第 43 回生） 〈令和 8 年度入学選考試験〉 8 総合型選抜入学試験・社会人総合型選抜入学試験（第 1・第 2 日程） 実施日：令和 7 年 9 月 6 日（土）、令和 7 年 11 月 15 日（土） ① 受験者数 20 名 ② 合格者数 19 名 9 推薦入学試験（学校推薦・指定校推薦） 実施日：令和 7 年 10 月 11 日（土） ① 受験者数 8 名 ② 合格者数 8 名 10 一般入学試験（前期）社会人一般入学試験、一般入学試験（後期） 実施日：令和 7 年 12 月 6 日（土）、令和 8 年 2 月 7 日（土） ① 受験者数 13 名 ② 合格者数 10 名 11 特別入学試験 実施日：令和 8 年 3 月 17 日（火）

	①受験者数 2名 ②合格者数 1名
--	----------------------

項目	作業療法学科（4年課程）
（Ⅰ） 総括報告	1 質の高い入学生確保のための活動を執り行った。 ① 「学院見学説明会」を4回開催 ② 「進学相談会」に9回参加 ③ 岩手県内・県外高校訪問の実施 2 学生教育充実のため教材教具、機器、図書を購入した。 3 個別指導を通して、個々の課題を探りながら学生指導や授業内容について検討を重ね学力向上を図った。 〈進級状況〉 1 学年 進級者 16名/16名 100% 2 学年 進級者 22名/24名 91.7% 3 学年 進級者 25名/25名 100% 4 臨床実習教育において、指導者と連携し作業療法士としての自覚を図り思考過程の修得を図った。 5 学生の就職活動において学生や求人施設の情報収集及び提供を行った。 ① 就職希望者 25名（卒業生者数 25名） ② 就職内定者 25名 ③ 就職内定率 100% 6 国家試験受験合格を目標として、学生・既卒生の学習促進を図った。 国家試験不合格の既卒学生に対し定期的な指導と学習環境を提供し学習促進を図った。 第61回作業療法国家試験（令和8年2月23日（月）実施） ①新卒者 25名中 24名合格 合格率 96.0%（全国平均 96.1%） ②既卒者 3名中 1名合格 合格率 33.3%（全国平均 37.8%） ③全 体 28名中 25名合格 合格率 89.3%（全国平均 89.3%）
（Ⅱ） 公益活動及び 地域支援活動 報告	1 岩手女子高等学校へ「人間工学」の講師派遣（教員1名） 2 盛岡市立ひまわり学園へ「リハビリ相談会」の講師派遣（教員1名） 3 奥州市子ども発達支援センターへ「療育指導会」の講師派遣（教員1名） 4 社会福祉法人石鳥谷会への作業療法の指導者派遣（教員1名） 5 青山和敬荘地域包括支援センター認知症サポーター養成講座派遣（教員3名） 6 青山和敬荘地域包括支援センター（盛岡市委託事業）介護予防教室4回 講師派遣 7 みたけ・北厨川地域包括支援センター 健康教室講師派遣 8 デイサービスセンター ミュウシャングェへ作業療法の指導者派遣（教員2名） 9 善友乳児院へ発達評価の講師派遣（教員1名） 10 浅岸和敬荘地域包括支援センター介護予防教室1回 講師派遣 11 盛岡市立河北小学校プールボランティア（プール授業）派遣（作業療法士教員3名） 12 岩手県重度障がい者用意思伝達装置評価支援事業派遣（教員1名） 13 日本作業療法士協会 MTDLP 委員委嘱（教員1名） 14 岩手県作業療法士会理事（教員1名） 15 岩手県立盛岡北高等学校「総合的探求」講師派遣（教員1名） 令和7年10月16日（木）、11月27日（木） 計2回

(Ⅲ) 各種報告	〈行事の実施〉 1 入学式：令和 7 年 4 月 10 日（木）実施、入学生 15 名（第 46 回生） 2 健康診断：レントゲン撮影、血液検査、内科検診等を実施 3 4 年生の就職説明会を実施（6 月、9 月 2 回実施） 4 インフルエンザ・B 型肝炎予防接種を実施 5 臨床実習指導者会議を実施(2 回開催) ① 総合実習Ⅰ・Ⅱ、地域作業療法実習 令和 8 年 3 月 19 日(木) ② 見学実習(1 学年)、短期実習Ⅱ・Ⅲ（2 学年、3 学年）令和 7 年 8 月 8 日（金） 6 卒業式：令和 8 年 3 月 5 日（木）実施、卒業生 25 名（第 43 回生） 〈令和 8 年度入学選考試験：受験者数 17 名 合格者数 17 名 入学者 17 名 辞退者 0〉 7 総合型入学試験・社会人総合型選抜入学試験（第 1・第 2 日程） 実施日：令和 7 年 9 月 6 日（土）、令和 7 年 11 月 15 日（土） ① 受験者数 8 名 ② 合格者数 8 名 8 推薦入学試験（学校推薦・指定校推薦） 実施日：令和 7 年 10 月 11 日（土） ① 受験者数 7 名 ② 合格者数 7 名 9 一般入学試験（前期）社会人一般入学試験、一般入学試験（後期） 実施日：令和 7 年 12 月 6 日（土）実施、令和 8 年 2 月 7 日（土） ① 受験者数 1 名 ② 合格者数 1 名 10 特別入学試験 実施日：令和 8 年 3 月 17 日（火） ① 受験者数 1 名 ② 合格者 1 名 11 学年毎に保護者オリエンテーションを実施 1、4 年生は対面実施、2、3 年生はオンラインでの実施 12 学科通信を発行：学院内行事などの通信の作成
---------------------	--

(4) 中津川病院

(Ⅰ) 総括報告	① 令和 7 年度は、外来・訪問診療における新型コロナウイルス感染症による診療体制への影響は殆どなかった。一方で、令和 7 年 12 月下旬から令和 8 年 1 月上旬にかけて、病棟において職員及び入院患者のクラスターが発生し入退院の制限を行った。 ② 入院患者の減少傾向が続くため、岩手医科大学附属病院患者サポートセンターと岩手県立中央病院地域医療福祉連携室を訪問し患者紹介増を依頼した。また、岩手県立中央病院との連携業務効率化のため、入退院支援クラウドシステムの運用を開始した。 ③ 三田記念病院との統合に向けて、当院にしかない設備は移設する方針とし、経営改善対策室と双方の職員が事前に各種確認作業を行った上で、令和 8 年 2 月下旬から 3 月 1 日にかけて設備の移設を行った。また、電子カルテシステム運用に向けて、患者情報や医療画像管理システムのデータ移行、各部門との間で必要なマスタ整備を行いながら、三田記念病院における運用シミュレーションを重ねた。 入院患者搬送を安全確実にを行うため、福祉車両と介護タクシーを利用する綿密な計画書
---------------------	---

	を作成、令和8年3月1日、計画書どおり17名の入院患者搬送を実施し無事終了した。このことにより、中津川病院は、前身である昭和6年の岩手サナトリウム創設から94年の歴史に幕を下ろした。 ④ 施設設備関係 ・ボイラー設備老朽化に伴う修理 送風機のベアリング交換 93,115 円 2号機ボイラー重油漏れ 186,450 円 重油タンク内の残量表示計器故障修理 231,000 円 ・リース物件等 三田記念病院へ移設するもののうち、安価なものはリース会社から買取りした。市場価値がある物件は、リース会社から買取り後、中古医療機器等の買取り業者に売却する方針とし、当院所有物も合わせて1,122,000円で売却した。 ⑤ 行政機関による指導及び調査 盛岡市保健所による病院立入検査（11月6日） ⑥ 改正労働安全衛生規則（熱中症対策） エアコンのない場所等で従事する職員が水分及び塩分の補給を容易に行うことができるよう、スポーツドリンクや塩飴等を配備した。 ⑦ カスタマーハラスメント対策 注意を行っても改善しない場合、相手には禁止事項を記載した警告書を渡すとともに、今後迷惑行為をしない旨を記載した誓約書を提出させるルールを制定、事務長が発動することとした。このほか、県医師会と県警連名のハラスメントポスターを院内掲示し発生防止に努めた。 ⑧ 補助金等の決定状況 ・令和7年度医療機関生産性向上・職場環境整備等事業費補助金：2,040,000 円 ・岩手県物価高騰対策賃上げ支援金：120,000 円 ⑨ 閉院に係る届出（行政機関） 保険医療機関廃止届・生活保護法指定医療機関廃止届・その他の給食施設廃止届・麻薬取扱者免許申請（返納）・難病医療費助成指定医療機関廃止届・診療用エックス線装置・廃止に係る届出・ボイラー及び第一種圧力容器廃止届・危険物貯蔵所廃止届・少量危険物廃止届・昇降機廃止届
（Ⅱ） 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 岩手看護専門学校臨地実習受入れ ② 岩手リハビリテーション学院臨床実習受入れ ③ 岩手県立大学社会福祉学部学生実習受入れ ④ 看護学生の奉仕活動受入れ（岩手看護専門学校ナイチンゲール祭） ⑤ 岩手県立大学非常勤講師委嘱（高橋院長） ⑥ 岩手リハビリテーション学院、岩手女子高等学校（看護科専攻科）非常勤講師委嘱（鈴木副院長） ⑦ 岩手看護専門学校（看護学科）非常勤講師（松長根看護師） ⑧ 岩手看護専門学校（看護学科）非常勤講師（村上看護師） ⑨ 岩手県福祉総合センター重度障がい者意思伝達装置評価支援派遣（工藤リハビリテーション科主任） ⑩ グループホーム浅岸静福園運営推進委員委嘱（高田事務係長） ⑪ 小規模多機能ホームやちだもの家つつじが丘運営推進委員嘱託（地域医療連携室：菊池准看護師）

(5) 訪問看護ステーションなかつがわ

(Ⅰ) 総括報告	① 令和7年も看護師常勤看護師6名、臨時看護師1名、事務員1名の体制で、昨年採用になった看護師の単独訪問が可能となった。グループホームの医療連携契約施設は、全部で3施設、5ユニット（45名）の利用者の健康観察など、看護師の訪問ニーズにこたえ、自宅よりも施設での看取りが多かった。 ② 3校の看護学生の指導実習や、看護学校への講師派遣、地域の看護師への教育を通じながら看護の質をあげることができた。 ③ 感染症や災害、虐待防止、身体的拘束への対応力強化の業務継続計画の運用に加え、熱中症対策強化対策等の整備も行い、利用者及び職員の環境調整等も身近に触れるようなシミュレーション等も工夫しながら行った。 ④ 盛岡市内の施設が充実した事や施設の空きが多くあり、中津川病院からの新規依頼は減少し、退院後訪問看護のニーズや看取りでの介入はかなり減少した。新規依頼は短期でも受け入れ対応したが、体調変化が多かった。実際は入院での死亡や施設入所が多く、件数としては今後も増加は見込めないことが予測された。 ⑤ 三田記念病院への移転にて、また、看護職員も減少傾向であり、次年度の看護師人数の減少も予測されるため、三田記念病院の在宅療養支援病院のサポートとしての訪問看護の位置づけとして運用していく方針である。 ⑥ 補助金等の決定状況 ・令和7年度医療機関生産性向上・職場環境整備等事業費補助金：180,000 円 ・岩手県社会福祉施設及び医療施設等物価高騰緊急対策支援金：39,000 円 ・岩手県介護施設等経営改善・従事者処遇改善等緊急支援事業費補助金：251,303 円 ・マイナ保険証利用促進のための取組に係る助成金：50,000 円												
(Ⅱ) 患者報告	<table><tr><td>①</td><td>利用者数</td><td>令和7年度</td><td>1日平均前年比</td></tr><tr><td></td><td>医療保険訪問看護件数</td><td>1,581 件（1日平均 4.3 件）</td><td>－0.7 件</td></tr><tr><td></td><td>介護保険訪問看護件数</td><td>1,375 件（1日平均 3.8 件）</td><td>－0.6 件</td></tr></table> ② 在宅看取り 13 件（前年比 ± 0 件）	①	利用者数	令和7年度	1日平均前年比		医療保険訪問看護件数	1,581 件（1日平均 4.3 件）	－0.7 件		介護保険訪問看護件数	1,375 件（1日平均 3.8 件）	－0.6 件
①	利用者数	令和7年度	1日平均前年比										
	医療保険訪問看護件数	1,581 件（1日平均 4.3 件）	－0.7 件										
	介護保険訪問看護件数	1,375 件（1日平均 3.8 件）	－0.6 件										
(Ⅲ) 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 岩手看護専門学校、岩手保健医療大学、岩手医科大学附属病院の実習受け入れ ② 岩手看護専門学校看護学科非常勤講師（佐藤管理者） ③ 盛岡看護医療大学校非常勤講師（佐藤管理者） ④ 岩手県立大学非常勤講師（佐藤管理者） ⑤ 令和7年度いわてイーハトーブ臨床研修病院群 ACP セミナーファシリテーターなど（佐藤管理者）												

(6) 居宅介護支援事業所なかつがわ

(I) 総括報告	① 本事業所は令和2年6月1日に設置し、介護支援専門員(ケアマネージャー)1名体制でケアマネージャーの付いていない患者の要介護認定の申請等の業務を行ってきた。令和6年4月より1名増員となったことで、更なる利用者獲得に努めた。令和8年3月より三田記念病院内に事業所が移転した時点で、1名の増員があった。 ② 介護保険収入等 介護保険事業所全体の収入は970万円、うち介護保険922万円、予防48万円、昨年比 +185万円であった。 認定調査収入は198,339円、昨年比 +51,339円であった。
---------------------	--

	③ 補助金等の決定状況 ・ 岩手県社会福祉施設及び医療施設等物価高騰緊急対策支援金：39,000 円 ・ 岩手県介護施設等経営改善・従事者処遇改善等緊急支援事業費補助金：9,741 円																																																																																
(Ⅱ) 患者報告	① 利用者数 <table><tr><td></td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>R7 年度</td><td>前年度比</td></tr><tr><td>要支援 1</td><td>8</td><td>22</td><td>21</td><td>53</td><td>35</td><td>44</td><td>+ 9</td></tr><tr><td>要支援 2</td><td>0</td><td>3</td><td>22</td><td>13</td><td>55</td><td>70</td><td>+15</td></tr><tr><td>合 計</td><td>8</td><td>25</td><td>43</td><td>66</td><td>90</td><td>114</td><td>+24</td></tr><tr><td>要介護 1</td><td>4</td><td>49</td><td>84</td><td>80</td><td>130</td><td>250</td><td>+120</td></tr><tr><td>要介護 2</td><td>36</td><td>137</td><td>130</td><td>206</td><td>208</td><td>223</td><td>+ 15</td></tr><tr><td>要介護 3</td><td>30</td><td>56</td><td>65</td><td>92</td><td>111</td><td>86</td><td>- 25</td></tr><tr><td>要介護 4</td><td>14</td><td>39</td><td>34</td><td>48</td><td>93</td><td>129</td><td>+ 36</td></tr><tr><td>要介護 5</td><td>19</td><td>67</td><td>71</td><td>46</td><td>40</td><td>56</td><td>+ 16</td></tr><tr><td>合 計</td><td>103</td><td>348</td><td>384</td><td>472</td><td>582</td><td>744</td><td>+162</td></tr></table>		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	前年度比	要支援 1	8	22	21	53	35	44	+ 9	要支援 2	0	3	22	13	55	70	+15	合 計	8	25	43	66	90	114	+24	要介護 1	4	49	84	80	130	250	+120	要介護 2	36	137	130	206	208	223	+ 15	要介護 3	30	56	65	92	111	86	- 25	要介護 4	14	39	34	48	93	129	+ 36	要介護 5	19	67	71	46	40	56	+ 16	合 計	103	348	384	472	582	744	+162
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	前年度比																																																																										
要支援 1	8	22	21	53	35	44	+ 9																																																																										
要支援 2	0	3	22	13	55	70	+15																																																																										
合 計	8	25	43	66	90	114	+24																																																																										
要介護 1	4	49	84	80	130	250	+120																																																																										
要介護 2	36	137	130	206	208	223	+ 15																																																																										
要介護 3	30	56	65	92	111	86	- 25																																																																										
要介護 4	14	39	34	48	93	129	+ 36																																																																										
要介護 5	19	67	71	46	40	56	+ 16																																																																										
合 計	103	348	384	472	582	744	+162																																																																										
(Ⅲ) 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 地域包括支援センターとの委託契約 4 件 ・ 五月園地域包括支援センター ・ 浅岸和敬荘地域包括支援センター ・ 松園・緑が丘地域包括支援センター ・ 仁王・上田地域包括支援センター																																																																																

(7) 三田記念病院

(I) 総括報告	① 東 2 病棟の削減及び許可病床数の変更について 今後予測される人口減少に伴う患者数の減少及び人材不足を見据えるとともに、入院病棟としての使用において老朽化が著しい東 2 病棟について、削減することとした。令和 7 年 3 月より東 2 病棟入院患者の移動を開始し、同年 3 月 10 日に最後の 1 名が退院した。その後、令和 7 年 4 月より東 2 病棟の全 36 床を休床とし、同年 5 月に閉鎖した。これに伴い、許可病床数を 262 床から 226 床へ変更した（36 床減）。 （変更後の内訳） 中 2 病棟（60 床）、中 3 病棟（56 床）、中 4 病棟（56 床）、中 5 病棟（54 床） ② CT 装置の新規購入について 平成 24 年より使用していた CT 装置について、令和 6 年度下半期に故障が発生し、機種が旧式であるため代替部品の調達が困難となり、使用不能となった。このため、内科機能を有する中津川病院との統合に対応する必要性から、リース契約によりキャノンメディカルシステムズ 16 列 CT 装置を導入し、盛岡労働基準監督署及び盛岡市保健所への手続きを行った上、令和 7 年 12 月に設置、現在稼働中である。 ③ 食事療養費 I の自主返還について 令和 7 年 2 月に実施された東北厚生局による適時調査において、管理栄養士が栄養部門の責任者となっていない点について指摘を受け、食事療養費 I と II の差額分について自主返還の指示を受けた。これを受け、令和 7 年度上半期に社会保険分及び国民健康保険分の合計 34,190,904 円について自主返還の同意手続きを行った。 ④ 令和 7 年度医療法第 25 条第 1 項に基づく立入検査（盛岡市保健所） 令和 7 年 8 月 28 日及び 9 月 1 日に実施された。特に大きな指摘はなし。 ⑤ 令和 7 年度精神科病院実地指導（岩手県県央保健所）
-------------	--

	令和 7 年 10 月 9 日に実施された。特に大きな指摘はなし。 ⑥ 液化酸素設備の新設について 中津川病院との統合に伴い、既存の酸素ボンベ設備では内科病棟における酸素使用量を賄うことが困難であることから、液化酸素設備の新設を行った。設置場所については、従来霊安室として使用されていたが現在は倉庫となっていたスペースを活用した。第一開明株式会社へ工事を依頼し、令和 7 年 12 月より工事を開始、令和 8 年 3 月 1 日より使用を開始している。なお、従来の酸素室についてはそのまま存置し、液化酸素設備の予備設備としている。 ⑦ ネットワークカメラシステムの更新及び増設について 院内の監視カメラは、病院建物竣工時より使用しており老朽化が進んでいるほか、映像確認用 PC も旧式（Windows XP）であるなど、機能面において更新の必要性が指摘されていた。また、近年の社会情勢（障がい者施設における侵入事件等）を踏まえ、現行の設置台数では防犯上不十分であると判断された。令和 7 年度に監視カメラ導入に係る補助金の活用が可能となったことから、扶桑電通株式会社より機器を購入し、令和 8 年 3 月に設置、現在稼働中である。 ⑧ 中津川病院との統合及び許可病床数の変更について 中津川病院との統合を実施した。これにより、精神科に加え内科機能を有する体制となり、地域ニーズに対応した幅広い医療提供が可能となった。統合にあたっては、中津川病院の入院機能、入院患者及びスタッフを三田記念病院中 3 病棟へ移行した。また、地域包括ケア入院医療管理料 1 の算定に対応するため、許可病床数を 199 床へ変更する必要があった。このため、盛岡市保健所への許可病床数変更届及び東北厚生局岩手事務所への各種施設基準の届出を行った上で、令和 8 年 3 月 1 日午前に中津川病院の入院患者を三田記念病院へ搬送し、統合を完了した。 主な変更点は以下のとおりである。 ・ 病院長 （変更前）磯野寿育 →（変更後）高橋進 ・ 標榜診療科 （変更前）精神科・神経科 （変更後）精神科・内科・老年内科・リハビリテーション科 ・ 許可病床数 （変更前）226 床 →（変更後）199 床 内訳：精神病床 148 床、一般病床 51 床 ・ 病棟構成 中 2 病棟（55 床）、中 3 病棟（51 床）、中 4 病棟（53 床）、中 5 病棟（40 床） ・ その他 中 5 病棟において差額ベッド室を 2 室から 4 室へ変更した。 また、中 4 病棟については、統合前より男性専用病棟から男女混合病棟へ変更している。 ⑨ 補助金等の決定状況 ・ 精神科救急医療体制整備事業補助金：811,800 円 ・ 令和 7 年度病床適正化緊急支援事業費補助金：110,808,000 円 ・ 令和 7 年度医療機関生産性向上・職場環境整備等事業費補助金：9,040,000 円 ・ 令和 7 年度医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金（物価上昇）：30,086,000 円 ・ 令和 7 年度医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金（賃上げ）：18,984,000 円 ・ 岩手県物価高騰対策賃上げ支援金:360,000 円 ・ 岩手県社会福祉施設及び医療施設等物価高騰緊急対策支援金：5,043,800 円
--	---

	・盛岡市医療機関物価高騰対策緊急支援金：4,298,000 円 ・人材開発支援助成金：120,400 円
(II) 患者報告	〈入院関係〉 令和 7 年 4 月～令和 8 年 2 月 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月比 ① 入院患者数 (1 日平均) 193.7 人 -26.0 人 ② 病床利用率 86.0% +2.2% ③ 平均在院日数 200.3 日 -100 日 ④ 作業療法件数 (1 日平均) 140.2 件 -11.7 件 〈外来関係〉 ① 外来患者数 (1 日平均) 75.8 人 +0.6 人 ② デイケア件数 (1 日平均) 23.9 件 +1.3 件 (ショートケア含む)
(III) 公益活動及び地域 支援活動報告	① 看護実習生 179 名の受入れ (内訳：岩手看護専門学校看護学科 44 名、岩手医科大学看護学部 95 名、岩手女子高等学校専攻科 8 名、岩手県立大学看護学部 19 名、盛岡市医師会附属盛岡高等看護学院 13 名) ② 作業療法実習生 6 名の受入れ (内訳：岩手リハビリテーション学院 4 名、弘前医療福祉大学 1 名、東北文化学園大学 1 名) ③ 精神保健福祉援助実習生 5 名の受入れ (岩手県立大学社会福祉学部 2 名、東北福祉大学総合福祉学部 1 名、東北福祉大学通信教育部 1 名、盛岡医療福祉スポーツ専門学校通信教育部 1 名) ④ 岩手県医療審査会へ委員派遣 ⑤ 日本精神科看護協会岩手県支部副支部長並びに教育委員、事務局要員として看護師を派遣

(8) こころの訪問看護ステーション三田

(I) 総括報告	① 医療収入 令和 7 年度の実稼働療養費は 11,562 万円となり、前年度比 213 万円の増収となった。訪問 1 件あたりの平均単価は 16,683 円で前年度比 242 円の増収となった。新規利用者の受け入れは 39 人であり前年度比 1 人増加し、訪問件数は 6,931 件となり前年度比 28 件増加となった。新規訪問利用者における作業療法のニーズの高さは継続しており、作業療法件数は 2,205 件となった。令和 6 年度診療報酬改定により既存の算定項目や新設された項目が増収しており、令和 7 年度もベースアップ評価料を算定したこと、24 時間対応体制における看護職員の負担軽減を行い高単価の算定が可能となる体制を継続したことが増収の要因となった。地域から信頼され選ばれるステーションとなるため、連携を丁寧に行い利用者の増加に努めた。 ② 訪問看護の質の向上 看護職、作業療法士、精神保健福祉士による多職種でのケアを実践し、利用者や支援者のニーズに応じた訪問看護や作業療法の提供に努め、利用者の症状の評価を行った。職能団体の研修等に積極的に参加し、資質の維持向上に努めた。 ③ 業務の効率化 遠方に在住する職員 2 名の在宅勤務を継続した。在宅勤務者は主に報告書、市町村宛情報提供書の書類作成や医療請求に関連する業務を担い、書類作成においては業務全体の 9 割以上を担当した。業務を分担することで、看護職等が訪問業務に専念し、看護計画の立案が円滑に行えたほか、レセプト請求時における事務負担軽減に繋がった。在宅勤務時は朝と夕方に Zoom でミーティングに参加し、毎週 1~2 日はステーションに出勤して情報共有を図った。
-------------	--

	④ 人事 訪問件数増加や診療報酬改定による業務増加に対応するため、臨時職看護師を1名採用、三田記念病院から総合職作業療法士1名、総合職看護師1名の異動を行った。8月以降は三田記念病院から週2名、11月から週3名看護師が派遣された。一般職看護師1名、臨時職看護師が期間満了につき2名退職した。 ⑤ 補助金等の決定状況 ・岩手県社会福祉施設及び医療施設等物価高騰緊急対策支援金：39,000 円 ・令和7年度医療機関生産性向上・職場環境整備等事業費補助金：180,000 円 ・マイナ保険証利用促進のための取組に係る助成金：50,000 円																																				
(Ⅱ) 訪問状況及び療養費稼働額報告	令和7年度前年比 ① 訪問実人数2,126 人（1 月平均 177 人）+101 人 ② 訪問延件数6,931 件（1 日平均 28.8 件）+28 件（1 日平均+0.3 件） 内）作業療法件数2,205 件（1 日平均 9.1 件）-5 件（1 日平均±0 件） ③ 実稼働療養費115,628,040 円（平均単価 16,683 円）+2,136,750 円（平均単価+242 円） 新規訪問依頼の医療機関内訳 <table><tr><td>医療機関名</td><td>三田記念</td><td>岩手医大</td><td>盛岡市立</td><td>都南病院</td><td>県立中央</td><td>もとだて病院</td><td>せいわ病院</td><td>盛岡心クリニック</td><td>盛岡北クリニック</td><td>盛岡観山荘</td><td>合計</td></tr><tr><td>人 数</td><td>14 人</td><td>8 人</td><td>7 人</td><td>7 人</td><td>0 人</td><td>1 人</td><td>2 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>39 人</td></tr><tr><td>前年比</td><td>-2 人</td><td>+2 人</td><td>+2 人</td><td>-1 人</td><td>±0 人</td><td>+1 人</td><td>+2 人</td><td>-1 人</td><td>-1 人</td><td>-1 人</td><td>+1 人</td></tr></table>	医療機関名	三田記念	岩手医大	盛岡市立	都南病院	県立中央	もとだて病院	せいわ病院	盛岡心クリニック	盛岡北クリニック	盛岡観山荘	合計	人 数	14 人	8 人	7 人	7 人	0 人	1 人	2 人	0 人	0 人	0 人	39 人	前年比	-2 人	+2 人	+2 人	-1 人	±0 人	+1 人	+2 人	-1 人	-1 人	-1 人	+1 人
医療機関名	三田記念	岩手医大	盛岡市立	都南病院	県立中央	もとだて病院	せいわ病院	盛岡心クリニック	盛岡北クリニック	盛岡観山荘	合計																										
人 数	14 人	8 人	7 人	7 人	0 人	1 人	2 人	0 人	0 人	0 人	39 人																										
前年比	-2 人	+2 人	+2 人	-1 人	±0 人	+1 人	+2 人	-1 人	-1 人	-1 人	+1 人																										
(Ⅲ) 公益活動及び地域支援活動報告	① 実習生、研修生受け入れ状況 岩手看護専門学校看護学科実習生 4 名（在宅看護論実習 8~9 月） 岩手医科大学看護学部実習生 32 名（精神看護学領域実習 5~6 月、9~1 月） 岩手県立大学看護学部実習生 2 名（地域看護学 6 月） 岩手県看護協会 1 名（訪問看護基礎実習 7 月） ② 講師等職員派遣状況 岩手県看護協会「訪問看護研修（専門）」 岩手医科大学看護学部「精神看護学演習講義」 佛教大学保健医療技術学部「精神科訪問看護における対話実践に関する研究協力」 ③ 研修会参加状況 令和7年度安全運転管理者等講習会 日本精神科看護協会各種研修会																																				

（9）加賀野の里

(I) 総括報告	①入居者数について 退去者4名、入居者3名、平均利用者数17.4名（前年度17.2名） 今年度は入退去、体験入居が例年に比べて多い年であった。年度末利用者18名（定員20名） ②収入について 令和7年5月よりグループホームの種類を介護サービス包括型（生活支援員を配置し身体介護サービス提供在り）に移行した。障害支援区分の度合いにより、報酬単価が高く設定されている。また、前年度までの加算に足して、感染対策加算Ⅰ・Ⅱ、日中支援加算、精神障害者地域移行特別加算を算定できるよう体制を整えた。利用料の値上げも行った。以上の体制変更等により増収に繋がった。 ③義務化である、委員会、研修会、地域移行推進会議等を滞りなく実施した。
-------------	--

	④補助金等の決定状況 ・盛岡市障害者入居施設等食材物価高騰対策支援金：220,752 円 ・岩手県社会福祉施設及び医療施設等物価高騰緊急対策支援金：274,000 円
(Ⅱ) 各種報告	①家族へお便り発送（4 月） ②協力医療歯科に内丸歯科クリニック・菅歯科 ③運営会議の実施（偶数月） ④顧問医診察の実施（偶数月） ⑤委員会の開催 虐待防止委員会（10 月）・身体拘束適正化委員会（10 月）・感染対策委員会（5、8、11、2 月） ⑥研修会、訓練 内部：・虐待防止研修会・感染予防研修会および訓練・災害 BCP 研修および訓練 ・ハラスメント防止研修・身体拘束適正化に係る研修会 外部：・感染症対策研修・苦情解決セミナー ⑦避難訓練（6 月）、災害視点での居室点検指導（3 月） ⑧食事アンケート（8 月） ⑨行事 買い物ツアー（4 月）、体育館でバレー（5 月）、ホームでカラオケ（6 月）、ゲーム大会（7 月）、カラオケ喫茶風（9 月）、クリスマス会（12 月）、フェザン買い物ランチ（3 月）、誕生日リクエストメニュー（全員）

4. 職員数、学生数、入居者数（令和 8 年 3 月 31 日現在）

(1) 職員数

年度別	令和7年度			令和6年度			差異		
性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全職員数	132	177	309	145	208	353	△ 13	△ 31	△ 44
済生医会本部	6	3	9	4	3	7	2	0	2
岩手看護専門学校	3	16	19	3	15	18	0	1	1
岩手リハビリテーション学院	12	9	21	11	10	21	1	△ 1	0
中津川病院				24	45	69	△ 24	△ 45	△ 69
訪看なかつがわ	1	7	8	1	7	8	0	0	0
居宅なかつがわ	0	3	3	0	2	2	0	1	1
三田記念病院	102	118	220	95	105	200	7	13	20
訪看三田	6	14	20	5	14	19	1	0	1
加賀野の里	2	7	9	2	7	9	0	0	0

(2) 学生数

年度別	令和7年度			令和6年度			差異		
性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
岩手看護専門学校 看護学科	13	97	110	11	96	107	2	1	3
計	13	97	110	11	96	107	2	1	3
岩手リハビリテーション学院									
理学療法学科	82	59	141	84	58	142	△ 2	1	△ 1
作業療法学科	39	49	88	44	57	101	△ 5	△ 8	△ 13
計	121	108	229	128	115	243	△ 7	△ 7	△ 14
学生数合計	134	205	339	139	211	350	△ 5	△ 6	△ 11

(参考) 令和8年4月1日現在の学生数

1. 看護学校

	1年	2年	3年	計	総定員
看護学科	28	41	30	99	120

2. リハビリ学院

	1年	2年	3年	4年	計	総定員
理学療法学科	36	38	34	34	142	160
作業療法学科	17	16	22	25	80	140

(3) 入居者数

	令和7年度	令和6年度	差異
加賀野の里	18	19	△ 1